

2025年1月14日

NTT コミュニケーションズ株式会社

「まなびポケット」の申し込み ID 数が 600 万を突破 ～子どもたち自身のデータ活用を支援するサービスをめざして～

ドコモグループの法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開する NTT コミュニケーションズ(以下 NTT Com)が提供するクラウド型教育プラットフォーム「まなびポケット」の申し込み ID 数^{※1}が 600 万 ID を突破しました。

現在、「まなびポケット」は「GIGA スクール構想」を実現するプラットフォームとしての活用に加え、「MEXCBT」^{※2}の入り口となる「学習マネジメントシステム」(以下 学習 e ポータル^{※3})としても全国の多くの自治体に採用いただいています。

NTT Com は、引き続き児童・生徒の特性に応じた個別最適な学びを支援し、保護者と学校がスムーズに情報共有できる機能、教職員のワークスタイル変革を後押しする機能などを提供し、より多くの教育現場で活用いただく取り組みを続けていきます。

1. 背景

「まなびポケット」は児童・生徒、教職員が一人ひとつのアカウントを持ち、さまざまな学習コンテンツを利用できるクラウド型教育プラットフォームです。インターネットとブラウザがあれば、どこからでもアクセスでき、提携するさまざまなサービス(授業支援・協働学習支援ツール、個別学習支援教材、英語やプログラミングの学習教材など)を提供しています。

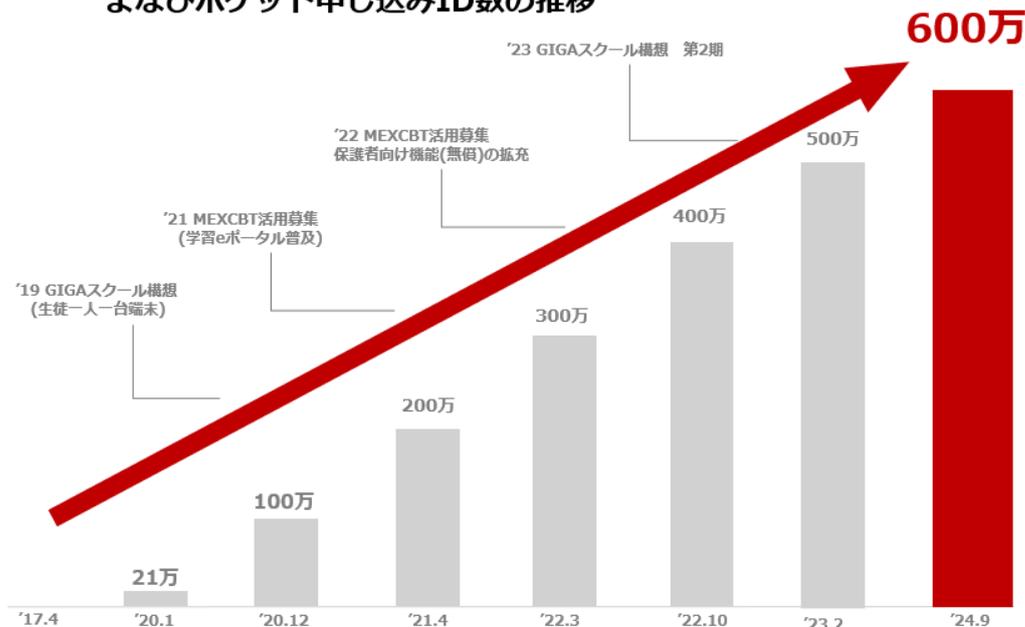
2017 年からサービス提供を開始し、2023 年 2 月時点では 500 万 ID のお申し込みをいただいております。また、2019 年より「保護者向け機能」を提供開始し、学校と保護者間のコミュニケーションにお役立ていただいています。

2. 600 万 ID 達成

「まなびポケット」は 2024 年 9 月に 600 万 ID を突破し、2025 年 1 月時点で全国の 1,200 以上の自治体、14,000 校以上の学校よりお申し込みをいただいています。昨年度からの 100 万 ID 増加には、「学習 e ポータル」として多くの自治体・学校に選ばれていることに加え、文部科学省が次世代の校務 DX におけるデータ連携基盤の整備を求められる中、2023 年に 12 月に提供開始した「ダッシュボード機能」などが評価されたことが大きな要因となっています。

今後も「学習 e ポータル」としての機能向上に加え「ダッシュボード機能」を拡充し、より多くの方々に活用いただくことをめざします。

まなびポケット申し込みID数の推移



また、GIGA スクール構想第 2 期^{※4}において、NTT Com が提供する「GIGA スクールパック」では子どもたち自身のデータ活用を支援する「まなびポケット」の新機能も含めたパッケージをご用意しております。[\(詳細はこちらをご覧ください\)](#)

単に「端末の更改」ではなく「データ駆動型教育実現」に向けて伴走する機能を評価いただいております。「GIGA スクールパック」は 2024 年 12 月現在で販売実績 15 万台を超えています。

今後も NTT Com は、児童・生徒、保護者、および教育現場を支え、「誰もが自分らしく学べる社会」の実現をめざします。

NTT ドコモ、NTT Com、NTT コムウェアは、ドコモグループの法人事業を統合し、法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開しています。



https://www.ntt.com/business/lp/docomobusiness/db2024_sol.html

※1：ID 数には、「まなびポケット」を利用する教職員、児童・生徒、保護者の ID が含まれます。

※2：文部科学省 CBT システム「MEXCBT(メクビット)」は文部科学省が開発をすすめる、児童・生徒が学校や家庭において、国や地方自治体などの公的機関などが作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる CBT(Computer Based Testing)システムです。CBT は問題用紙やマークシートなどの紙を使わずコンピューターを利用した試験をさします。

※3：学習 e ポータルは、GIGA スクール構想で整備された一人一台環境と高速ネットワークを活かし、ソフトウェア間の相互運用性を確立してユーザーにとっての操作性を向上させるとともに、教育データをより良く活用するために構想された、日本の初等中等教育向けのデジタル学習環境のコンセプトのことでです。

※4：「GIGA スクール構想 第 2 期」は、2024 年度から 2028 年度を期間とします。